

授業科目 言語学

【担当教員名】 阿部 聡		対象学年	1	対象学科	言語
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎			
【概要・一般目標：G10】 入門用テキストとハンドアウトを用いて、言語学の基本的な考え方について概観し、言語学の主な領域を説明する。現代言語学の大きな流れ・分野を概観し、言語の単位、構造や機能について考え、現代言語学の考え方を身につけることを目標とする。言語の構造に関しては、音声、音韻、語の構造（形態）、文の構造などを扱う。また、言語聴覚士国家試験ではこれらに対応した日本語学・日本語文法の知識・考え方を問う問題が出題されているため、日本語の構造についても併せて説明する。言語の機能については、意味論や語用論などの観点から説明する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 言語学の基本的な考え方を身につける。 2. 言語学の基本概念・単位・分野についての知識を得る。 3. 主体的に言語の構造を分析できるようになる。 4. 言語の機能や言語と社会・文化との関わりについて学ぶ。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	言語とは何か（素朴な言語観、言語学の各分野の「言語のとらえ方」）			1 2	講義 討議 質問用紙
2	言語の恣意性と分節性（言語の記号としての特徴）			1 2	講義 質問用紙
3	言語能力と言語運用、言語の構造と言語の機能			1 2	講義 質問用紙
4	現代言語学の主要な分野（音韻論・形態論・統語論・意味論・語用論）			1	講義 質問用紙
5	音韻論、日本語の音声・音韻			1 2 3	講義 質問用紙
6	形態論、日本語の語形成			2 3	講義 質問用紙
7	統語論（1）生成文法：文・句の構造			2 3	講義 質問用紙
8	統語論（2）日本語の文構造			2 3	講義 質問用紙
9	日本語の文法的特徴			2 3	講義 質問用紙
10	言語類型論			2 3	講義 質問用紙
11	意味論：語の意味・文の意味			2 3	講義 質問用紙
12	語用論（1）文の含意			4	講義 質問用紙
13	語用論（2）ポライトネス / 言語の機能：機能主義的言語分析			4	講義 質問用紙
14	機能言語学 / 言語と社会：社会言語学			4	講義 質問用紙
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		言語学入門	斎藤 純男	三省堂	2010・2,205円
参考書		日本語の教科書	島山 雄二 他	ベレ出版	2009・2,940円
		探検！ことばの世界	大津由紀雄	ひつじ書房	2004・1,680円
		はじめての言語学	黒田龍之助	講談社現代新書	2004・777円
		ベーシック現代の日本語学	日野 資成	ひつじ書房	2009・1,785円
その他の資料					
【評価方法】 質問用紙・小テスト（国試問題など）20% レポート（冬休み前に行う予定）40% 期末 テスト40%		【履修上の留意点】 テキストは入手後すぐに通読してほしい。テキストを読んでみて難しいと感じた場合は、参考書として挙げた黒田龍之助著『はじめての言語学』を早い時期に読んでおくことをすすめる。授業は講義形式だが、質問用紙やレポートなどを通じて積極的に授業に参加してもらいたい。国試問題だけを眺めると暗記科目のように見えるかもしれないが、実は「考える科目」なので、自ら進んで考える習慣をつけるよう心がけてほしい。			